



物流支援ロボット CarriRo、SBS 東芝ロジスティクスの物流倉庫にて導入拡大 ～フォークリフトによる作業を CarriRo で代替し搬送工数の削減に成功～

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒)が販売する物流支援ロボット CarriRo®(キャリロ)が、SBS 東芝ロジスティクス株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:金澤 寧、以下 SBS 東芝ロジスティクス)の大阪にある家電物流倉庫へ導入されました。本拠点では、CarriRo で二つのパレットを同時に搬送することにより、フォークリフトの長距離移動が大幅に削減され、労働時間の削減効果を得られています。

この度、弊社ウェブサイトにて当事例を公開いたしましたのでお知らせいたします。なお、同社の CarriRo 導入拠点は本件で二箇所目となります。



独自の牽引アタッチメントにより、二つのパレットをまとめて搬送

同社は CarriRo の採用理由について、以下の 2 点を挙げられています。

1. 人と環境を選ばない扱いやすさ

CarriRo の別拠点での導入実績から、特にフォークリフトの作業比率が高い現場でのパレット搬送における一定の効果を確認されていました。その際、CarriRo の扱いやすさが高く評価されており、今回の他拠点導入に至りました。

2. 独自の牽引アタッチメントとベストマッチ

CarriRo が様々な形状の牽引物と接続できる点も評価いただきました。今回は、同社が独自開発したパレットの二枚積みや台車との連結もできる専用アタッチメントも接続できたことで、現場にとって最適な搬送方法を確立することができました。

今後の展開として同社からは「新規顧客の獲得に力を入れておりますので、業務受託の際には人手不足対策の一環でキャリロの活用を検討していきたいと思っております」また、深刻な人手不足への対策として、「ロボット化にも取り組み、お客様に喜ばれる物流サービスの提供を進めて参ります」とのコメントをいただいております。

【物流支援ロボット CarriRo 導入事例紹介】

事例紹介 URL:https://www.zmp.co.jp/carriro/casestudy/detail_sbs

※運用動画あり



【SBS 東芝ロジスティクス株式会社】

URL: <https://www.sbs-toshibalogistics.co.jp/>

【物流支援ロボット CarriRo】

物流支援ロボット CarriRo は、ZMP が開発に取り組む自動タクシー®のサービス実証に代表される ZMP の自動運転技術を応用して開発された製品です。少子高齢化の流れにより急速な人手不足となっている物流業界において搬送作業の負荷を軽減し、省人化・効率化を目的として販売を実施しております。現在販売開始から累計 300 ユーザー以上の導入実績があり、自律移動による新たな付加価値により物流拠点や工場を始め、ホテルなどのサービス業界と様々な分野に導入が広がっております。

Web URL: <https://www.zmp.co.jp/carriro/>

動画: <https://youtu.be/Fby8k6nAN8A>



【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボセールス&ソリューション事業部

TEL: 03-5844-6211 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<https://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



RakuRo®



DeliRo®



PATORO®



VacuuRo®



RoboCar®
Mini EV Bus



CarriRo®



CarriRo®Fork

「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ヒトの移動を担う『自動運転車両 RoboCar®シリーズ』、②モノの移動を担う『物流ロボット CarriRo®シリーズ』、③ロボタウン®を実現する『歩行速ロボ®三兄弟』を活用したサービス、また④それらを管理する『ロボットクラウドシステム ROBO-HI®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

日本初の公道走行を実現した DeliRo®、佃・月島でサービス開始した RakuRo®は、「ロボットを社会インフラへ」を目指し、戦略的事業パートナーを募集中です。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。